UNIT
05 시험과 면접 : テストと面接

아이스브레이킹 ウォームアップ

Q1 **試験の前日の夜は、普段何をしますか？**

試験前日は体調(たいちょう)を整(ととの)えるために、いつもより早く寝るようにしています。

시험 전날에는 컨디션을 가다듬기 위해 평소보다 일찍 자려고 해요.

Q2 **試験勉強や大切な作業(さぎょう)に集中できない時は、どうしますか？**

いったん外に出て、頭を冷(ひ)やします。

일단 밖에 나가서 머리를 식혀요.

토론 질문 ディスカッション

Q3 **これまでの人生で、一番緊張(きんちょう)した試験や面接は何でしたか？**

大学入試は人生がかかっている気がして、すごく緊張しました。

대학 입시는 인생이 걸린 것 같아서 엄청 긴장했어요.

Q4 **挑戦してみたい試験や資格(しかく)はありますか？**

転職(てんしょく)に役立(やくだ)ちそうなので、英語の資格を取りたいです。

이직에 도움이 될 것 같아서 영어 자격증을 따고 싶어요.

Q5 **試験や面接をもう一度受けられるチャンスがあるとしたら、どの試験や面接をやり直したいですか？**

大手企業(おおてきぎょう)の最終面接をやり直したいです。緊張して失敗したので。

대기업 최종 면접을 다시 보고 싶어요. 긴장해서 실수했거든요.

Q6 **正解のある試験と論文形式(ろんぶんけいしき)のレポートなら、どちらを選びますか？**

試験は時間に追(お)われて焦(あせ)るので、ゆっくり考えられるレポートのほうがいいです。

시험은 시간에 쫓겨서 초조해지기 때문에 천천히 생각할 수 있는 레포트가 더 좋아요.

Q7 **試験の前日、あと5時間勉強するのと、早めに寝て8時間の睡眠をとるのでは、どちらがよい結果につながると思いますか？**

試験範囲(はんい)が狭いときは、一夜漬(いちやづ)けのほうが効率(こうりつ)がいいと思います。

시험 범위가 좁을 때는 벼락치기가 더 효율적이라고 생각해요.

Q8 **大学で優秀な人材(じんざい)を育(そだ)てるためには、入学をもっと難しくするべきですか？ それとも、卒業をもっと難しくするべきですか？**

入学は簡単でも、卒業までにしっかり実力をつけることが大切だと思います。

입학은 쉬워도 졸업할 때까지 확실하게 실력을 쌓는 것이 중요하다고 생각해요.

UNIT

05 기부금 입학제도, 허용해야 할까?

1 本文

私立大学で入試課長を務めるミホ(41歳)は、難しい選択を迫られていた。大学の累積赤字は15億円に達しており、このままでは来年、廃校になる予定だ。学生や教職員も行き場を失うことになる。そんな中、ある実業家が30億円の寄付を申し出た。この寄付があれば大学は存続でき、経済的に苦しい学生に毎年奨学金を支給することもできる。ただし、条件は合格最低点に3点届かなかった実業家の息子1人の入学を認めることだった。学長のタナカ(62歳)は「一人の入学を認めることで、大学全体を救うことができる。これは、多くの学生の未来を守るための選択だ」と主張する。一方、同僚のユイ(29歳)は「寄付で入学できる制度を認めれば、入試の公平性が失われます。努力して合格した学生はどう思うでしょうか」と反論する。ミホも大学を守りたいと考えているが、入試の原則を曲げることにはためらいがある。寄付者の子どもへの入学優遇を法律で認めるべきか、それとも禁止すべきか。あなたはどちらを支持しますか。

今日の表現

表現 累積赤字 누적 적자 / 申し出る (자청해서) 제안하다 / 行き場 갈 곳 / ～を務める ~을 맡다, 역임하다 / 実業家 사업가 / ～を迫られる ~을 요구받다, ~해야 하는 상황에 몰리다 / 優遇 우대

2 二つの立場

〈立場 A〉 대학 재정에 기여한 만큼 우대를 허용할 수 있다

- アメリカの名門大学では、長年にわたって行われてきた慣行です。
- 寄付によって建てた施設は、在学生全員が利用できます。
- 優遇によって入学する学生が定員の1%以内にとどまるなら、影響はごくわずかです。
- 隠れて行われる裏口入学を黙認するよりも、ルール化した方が透明です。

〈立場 B〉 경제력에 따른 입학 우대는 금지해야 한다

- 親の経済格差が、そのまま子どもに受け継がれます。
- その大学の卒業証書の価値が下がります。
- アメリカでも、入学優遇制度を廃止する大学が増えています。
- 入試は、家庭環境や親の経済力に左右されずに挑戦できる数少ない機会です。

私の立場 ☐ 立場 A ☐ 立場 B ※中立は選べません

3 ディベート

1R 最初の主張

全員 1回。時計回り。理由は三つまで。

- [ ] 私は○○の立場です。理由は三つあります。まず〜、次に〜
- [ ] これは〜という前提に基づいています。

2R 指名して反論

全員1回。「○○さんに反論します」と言って反論を始める。終わったら隣の人に順番を渡す。

- [ ] たしかに〜ですが、それは〜を前提とした話ではありませんか。
- [ ] その主張は、〜という点を軽視しています。
- [ ] 実際には、〜する場合も少なくありません。
- [ ] そもそも「〜」の定義が違うのではありませんか。

3R 反論に答える

反論された人のみ。パスできない。

- [ ] その指摘は当たりません。なぜなら〜
- [ ] たしかにその点は認めます。ただ〜
- [ ] 今の反論は、私が言っていないことへの反論です。

4 ゆさぶり質問

多数派に先に使う。

1 — 立場 A と言った人へ

あなたの子どもが2年間浪人して、合格最低点に1点届かず、補欠順位が1位になったとします。しかし、合格最低点に80点届かない寄付者の子どもが入学を認められたために、あなたの子どもはもう1年浪人することになりました。それでも、寄付者の子どもへの入学優遇を認めるべきだと言えますか。

2 — 立場 A と言った人へ

あなたが寄付をして、子どもを入学させたとします。しかし、子どもは在学中の4年間、「お金で入学した人」と陰で言われ、卒業後も履歴書を出すたびに疑われるかもしれません。それでも、親として子どもにその道を選ばせますか。

3 — 立場 B と言った人へ

あなたの母校が来年閉校するとします。30億円の寄付があれば存続でき、その条件は寄付者の子ども1人の入学だけです。それでも、あなたはその寄付を断るべきだと言えますか。

4 — 立場 B と言った人へ

甲子園に出た野球選手が、学力試験で100点足りなくてもスポーツ推薦で入学したとします。大学の名誉につながる才能は認められるのに、大学に資金をもたらす力は認められないと、はっきり言えますか。

5 最終質問

- [ ] 立場 A　- [ ] 立場 B　- [ ] 変わった　- [ ] 変わらなかった

- [ ] 最初は〜と思っていましたが、○○さんの指摘で考えが変わりました。
- [ ] 立場は変わりませんでしたが、理由が変わりました。
- [ ] 今まで〜という点を考えていませんでした。

6 使える語彙

2Rの「その主張は〜という点を軽視しています」の〜に入れる材料です。

❶ 立場Aが使う語彙。

見込(みこ)み	기대하다, 예상하다
財源(ざいげん)	재원, 자금의 출처
立(た)て直(なお)す	재건하다, 회복시키다
賄(まかな)う	비용을 충당하다
特例(とくれい)	특례, 특별히 인정되는 예외
やむを得(え)ず	부득이하게, 어쩔 수 없이

❷ 立場Bが使う語彙。

切(き)り捨(す)てる	잘라 버리다, 외면하다
不当(ふとう)	부당함, 부당한
ねじ曲(ま)げる	왜곡하다, 부당하게 바꾸다
癒着(ゆちゃく)	유착, 부적절한 결탁
不透明(ふとうめい)	불투명함, 절차 등이 명확하지 않음
下駄(げた)を履(は)かせる	점수를 얹어주다, 특혜를 주다

1R メモ

自分の立場・理由三つ・根拠とした前提

2R メモ

誰に反論するか・相手が軽視した点・自分の反論